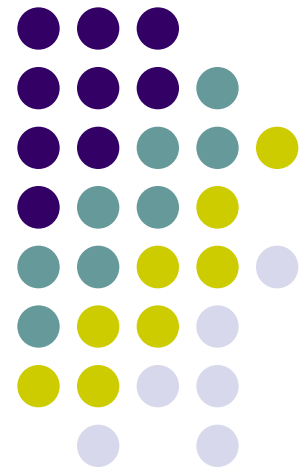


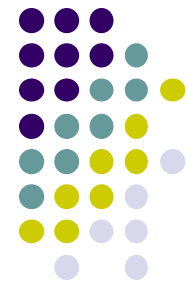
第31回自然公園等小委員会 諮問案件

十和田八幡平国立公園 (八幡平地域)

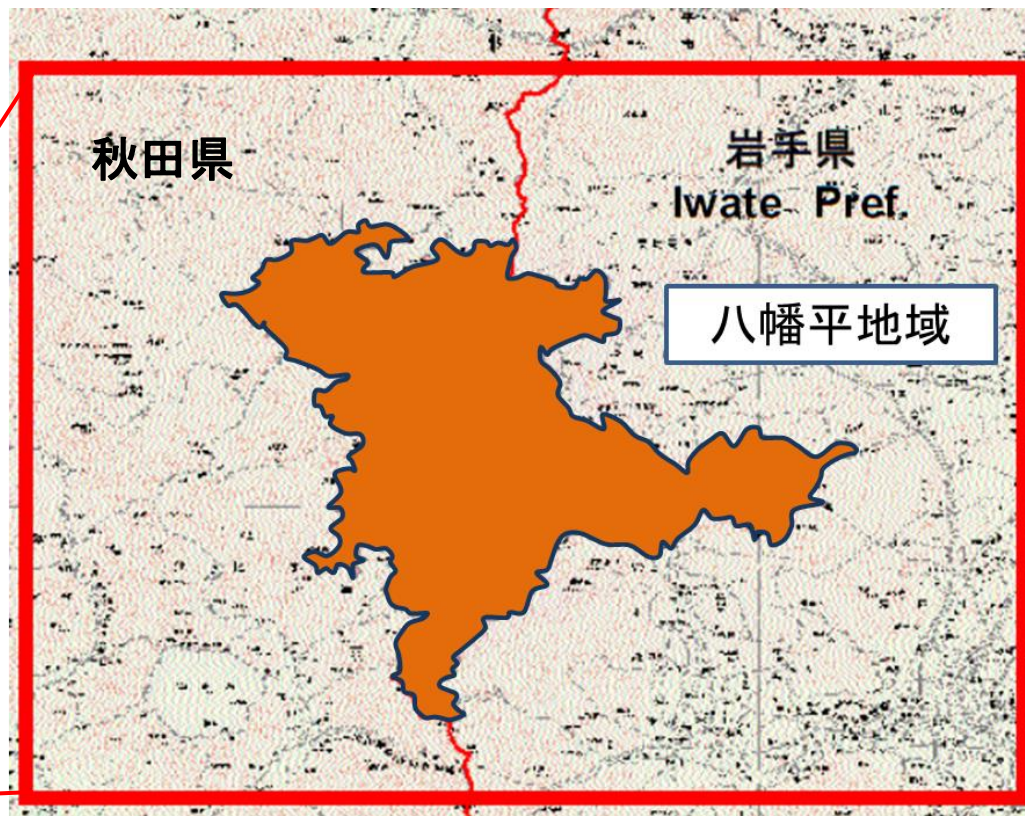
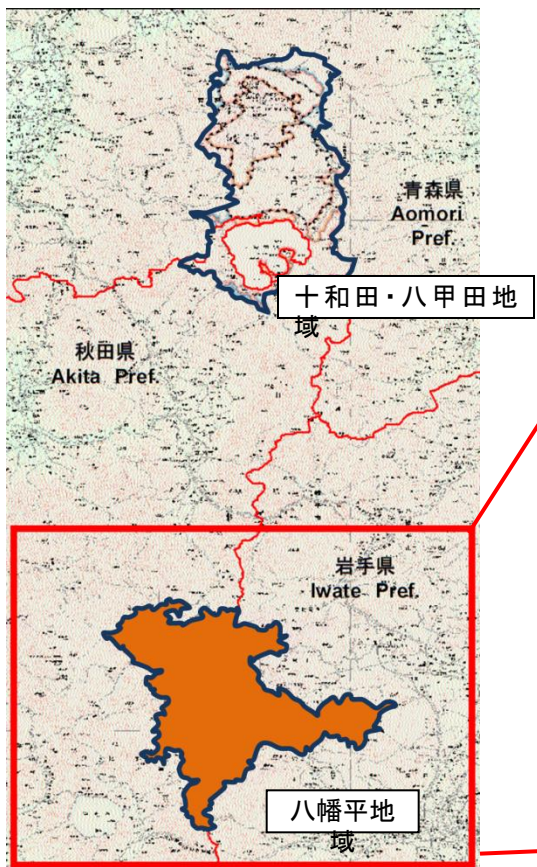
公園計画の変更(再検討)



十和田八幡平国立公園の概要

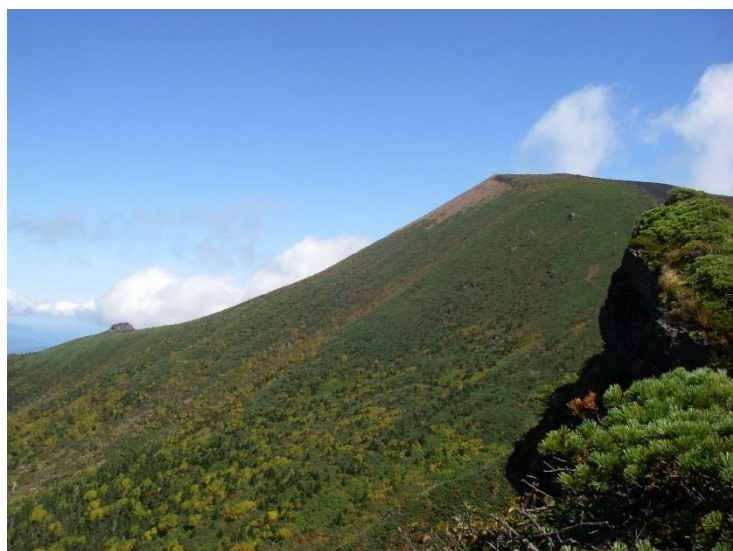


- 指定 昭和11年2月1日（八幡平地域は昭和31年7月10日）
- 面積 85, 534ha（うち、八幡平地域は40, 474ha）





火山連峰、カルデラ湖、原生的な 自然林及び渓谷からなる公園



岩手山



千沼ヶ原

玉川噴気



十和田八幡平国立公園(八幡平地域) 経緯



昭和11年：十和田国立公園指定

昭和31年：八幡平地域の追加(十和田八幡平国立公園に改称)

昭和31年の八幡平地域の公園指定後の59年間、本地域については全般的な見直し(再検討)が行われていないことから、今回、再検討を実施するもの

変更のポイント

①保護規制計画の変更

- ・自然環境の資質を踏まえた変更

②利用施設計画の変更

- ・利用実態、今後の利用方針を踏まえた変更

保護規制計画の変更



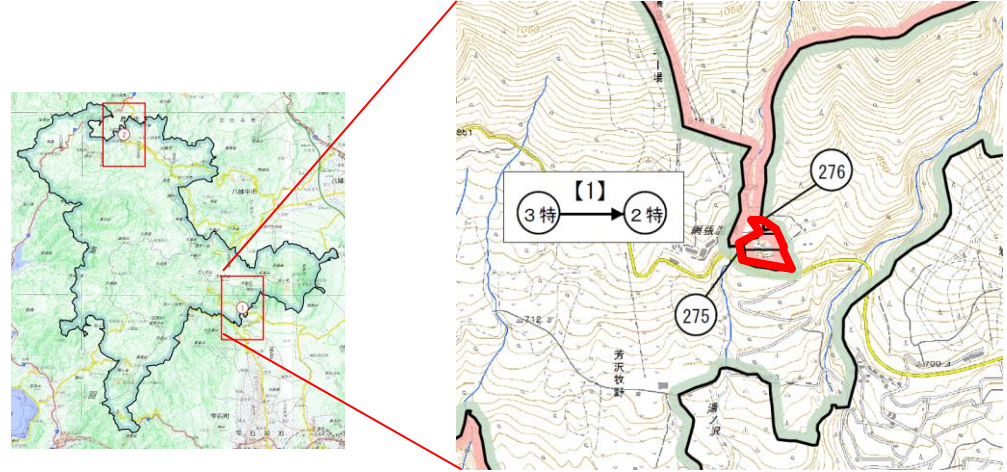
あみはり
網張

(第3種特別地域→**第2種特別地域**)

3ha

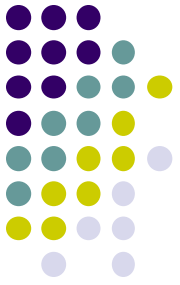
岩手山の南西に位置
周辺はブナを主体とした森林
ビジターセンターや園地など利用拠点が
整備

今回の点検により、利用上も重要な地域
(集団施設地区内)であり、適正な利用と
風致の維持を図る必要性があるとして、
第2種特別地域に変更



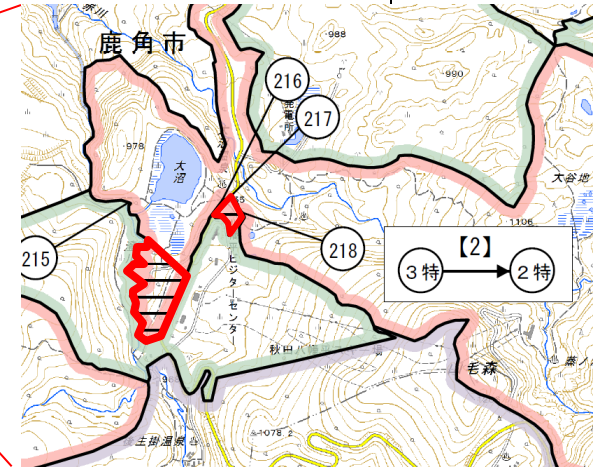
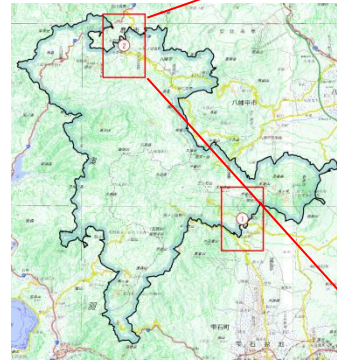
保護規制計画の変更

ごしょがけ
後生掛 (第3種特別地域 → **第2種特別地域**) 13ha



周辺はブナとオオシラビソの針広混交林が広がり、隣接する大沼は主要な展望及び自然探勝地
ビジターセンターや野営場など利用拠点が整備

今回の点検により、利用上も重要な地域(集団施設地区内)であり、適正な利用と風致の維持を図る必要があるとして、**第2種特別地域に変更**



利用施設計画の変更



■ 集団施設地区 : 7箇所 → 4箇所

■ 単独施設 : 追加 22箇所、削除34箇所

	集団施設地区の削除	単独施設の追加
集団施設地区から単独施設へ振替	3	9

	単独施設の削除	単独施設の追加
不要な計画の削除	22	—
宿舎から避難小屋への振替	8	8
道路付帯から振替	—	2
園地の整理	3	2
重複の整理	1	1

■ 車道 : 追加1路線、削除 3路線、変更 4路線

■ 歩道 : 追加1路線、削除13路線、変更21路線

等



主な利用施設計画の変更

● 集団施設地区の変更

蒸ノ湯、藤七温泉、松川温泉の削除
(単独施設への振替)

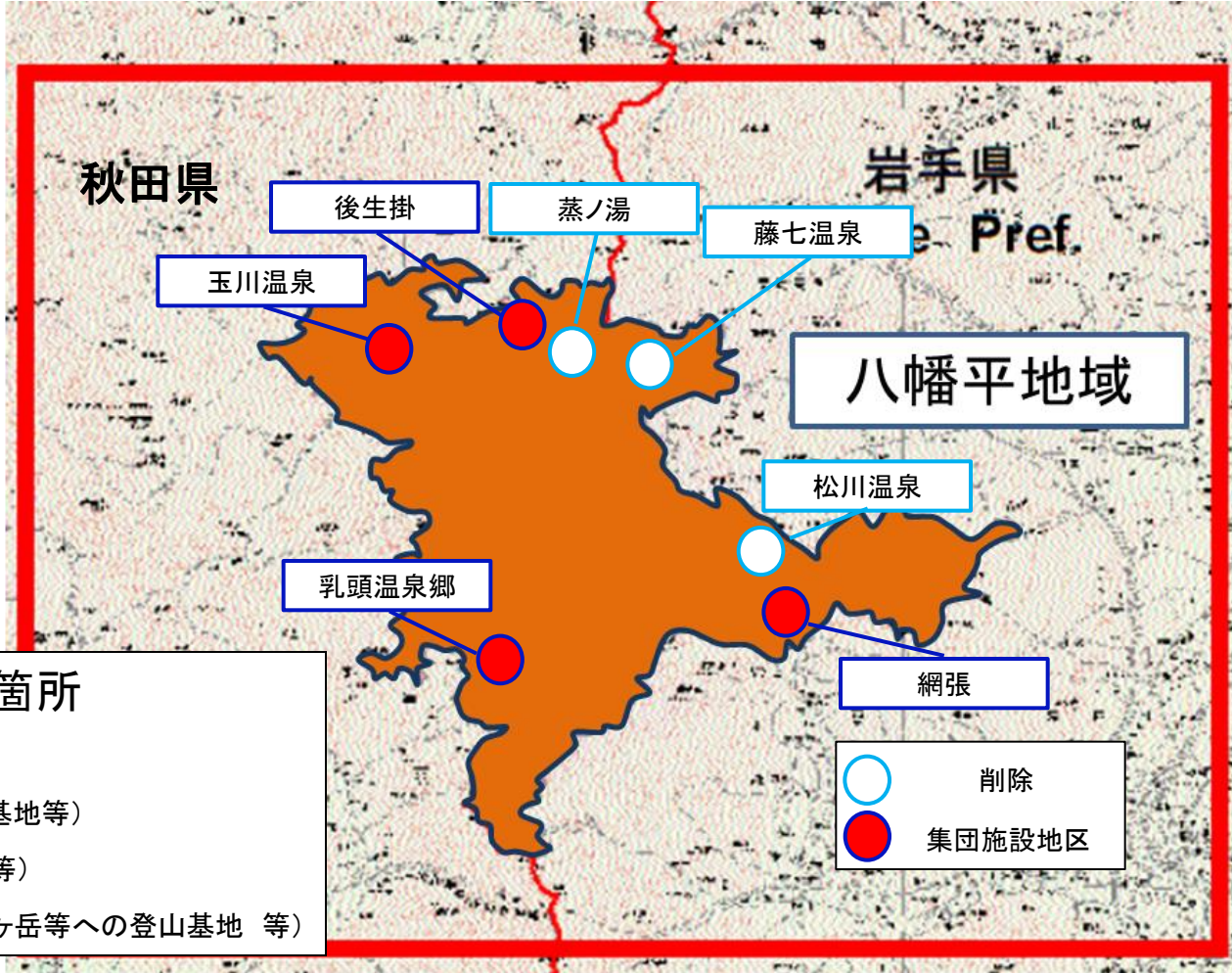
削除(振替)理由:

総合的な利用施設の整備に必要な土地の拡がりがなく、今後も集団施設地区としての整備が見込まれないため。

ふけのゆ
■ 蒸ノ湯集団施設地区
→ 宿舎、休憩所へ

とうしち
■ 藤七温泉集団施設地区
→ 宿舎、園地、給水施設へ

■ 松川温泉集団施設地区
→ 宿舎、野営場、駐車場、給水施設へ



■ 変更後の集団施設地区は4箇所

- ・ 網張 (湯治、岩手山等への登山基地等)
- ・ 後生掛 (湯治、八幡平・焼山への登山基地等)
- ・ 玉川温泉 (湯治、焼山への登山基地等)
- ・ 乳頭温泉郷 (湯治、乳頭山・秋田駒ヶ岳等への登山基地 等)



主な利用施設計画の変更

● 単独施設の変更の一例

(宿舎から避難小屋へ 8箇所)

振替理由:

山岳地の避難小屋が、「宿舎計画」とされているため、「避難小屋計画」へ振替



焼山避難小屋



田代平避難小屋



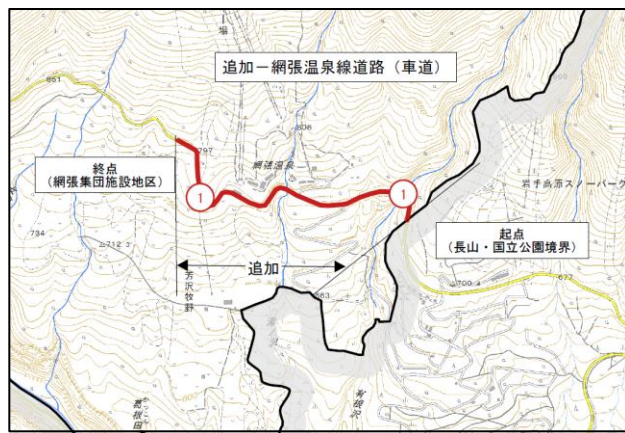


主な利用施設計画の変更

●道路の追加

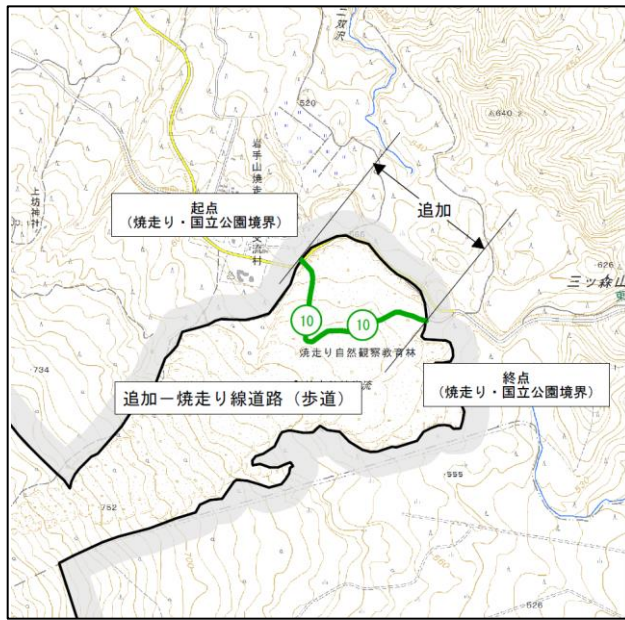
・ 車道の追加(1路線)

追加理由:
網張集団施設地区に至る車道として整備



・ 歩道の追加(1路線)

追加理由:
焼走り溶岩流を観察するための探勝歩道として整備





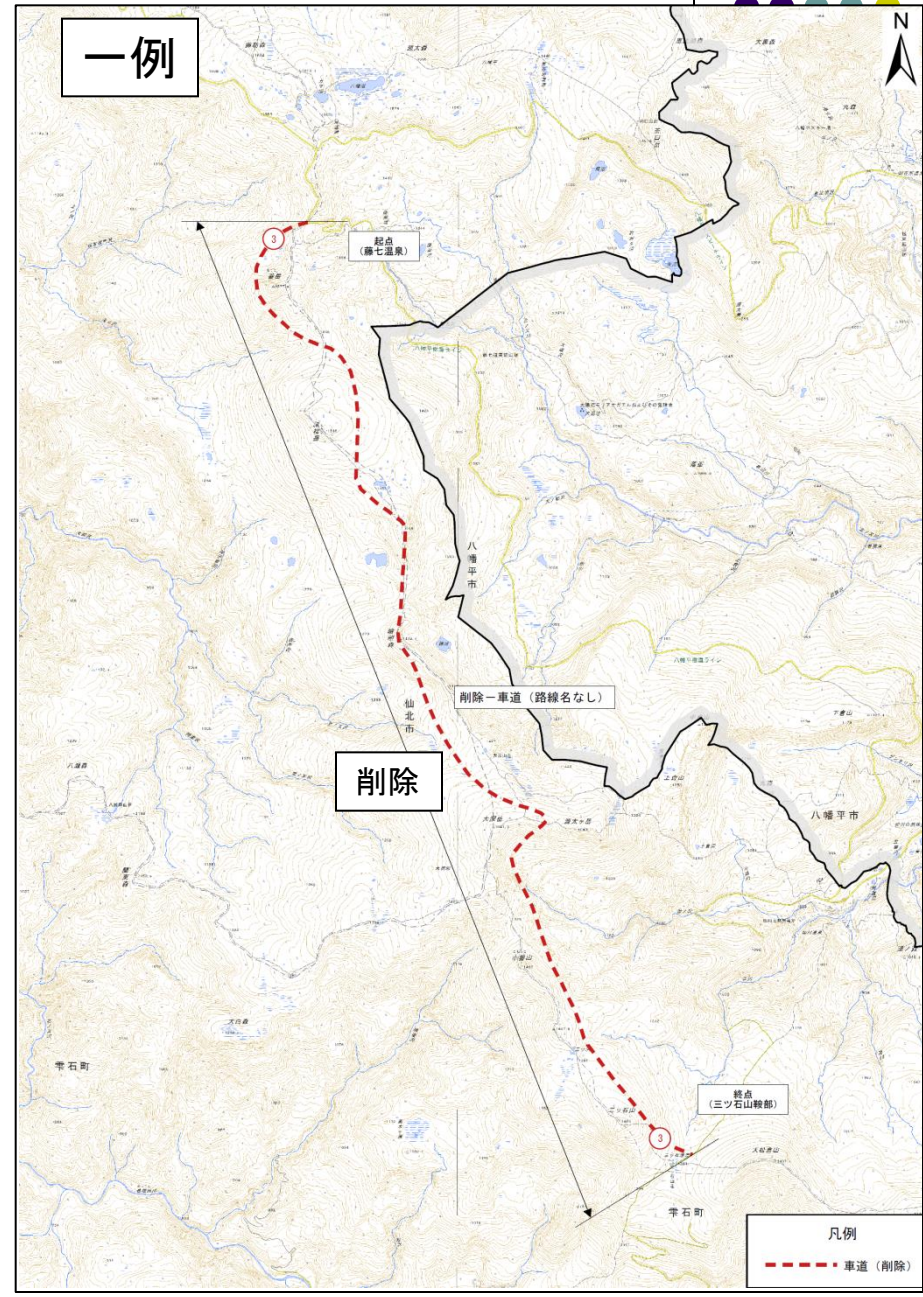
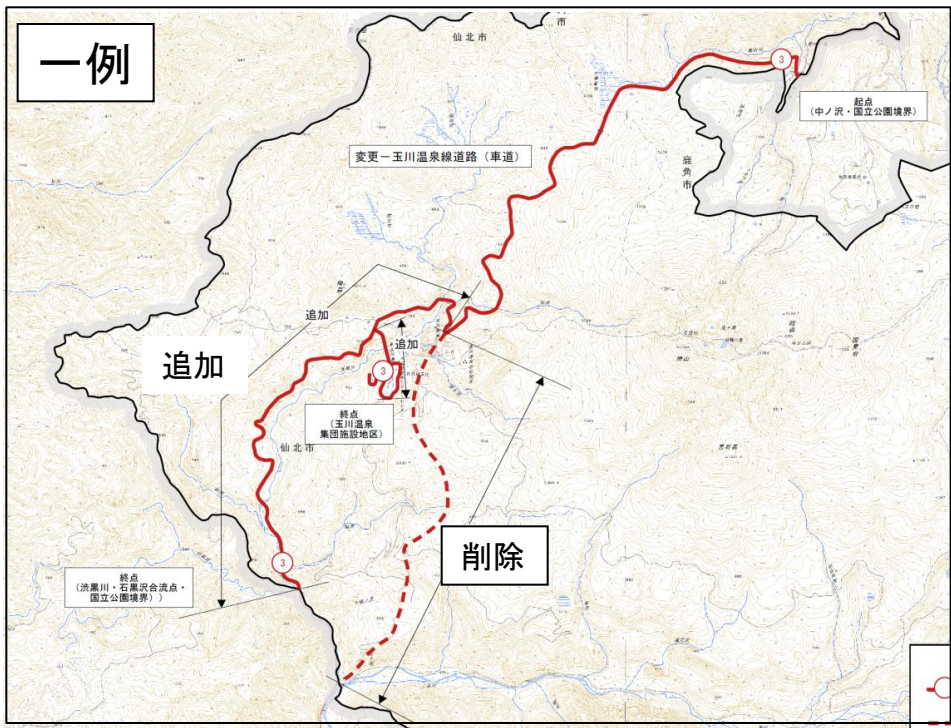
主な利用施設計画の変更

●車道の削除(3路線)

理由: 利用上不要で、整備の見込みもないため 等

●車道の変更(4路線)

理由: 起点・終点の明確化や路線の整理をおこなったため



主な利用施設計画の変更

●歩道の削除(13路線)

理由: 必要性が無く、整備の見込みもないため等



●歩道の変更(21路線)

理由: 路線の整理・分割を行ったもの等

